

第37回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和3年7月13日（火） 15:00～16:15
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・高山委員
 - ・竹原委員（※） ・徳島委員（※はオンライン会議システムを利用した出席）
4. 議 事
 - （1）令和2年度各積立金の管理及び運用に関する運用報告書
 - （2）令和2年度各積立金のリスク管理状況
 - （3）退職等年金給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - （4）TCFDへの賛同について
 - （5）外国債券のマネージャー・エントリー制の実施について
 - （6）令和3年度（4月～5月）の資産配分状況について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

- （1）令和2年度の各積立金の運用状況
 - 昨年度は、運用成績が非常によかったが、これは内外債券の組替えとリバランスを適切に行っていたことも非常に大きかったのではないかと、こういったことについても、振り返りとしてきちんと記録に残し、上手なPRの仕方を考える必要がある。
 - 運用報告書について、よくまとまっており、データとして問題はないが、それに対する評価も文章で記載した方がよいのではないかと、一般の方に伝わるような工夫を、少しずつ改善に向けて考えて頂きたい。
 - 各資産において、インデックスごとにベンチマークリターンを記載しており、非常に興味深い一方で、なぜこれほど多くのベンチマークを採用しているのかについても、説明が必要であると思う。

(2) 令和2年度各積立金のリスク管理の状況

- スタイル管理について、実績重視で管理すると、どうしてもよかったものは手をつけづらいため、全体のスタイルバランスが歪む恐れがある。実績以外の観点を入れながらマネジャーのバランスを調整する方が、プランスポンサーとしてより適切な、将来のパフォーマンスに焦点を当てたような運営ができるのではないかと考える。

(4) TCFDへの賛同について

- 賛同後は投資先企業の情報開示促進を通じて環境に関する取組を推進するとあるが、連合会は直接企業に投資しているわけではないため、運用を委託しているアセットマネジャーに対する働きかけが中心になると思う。具体的方針については、これから議論がなされるものと思うが、現時点ではどのように考えているのか。

(5) 外国債券のマネージャー・エントリー制の実施について

- 外国債券は今までベータでリターンを取りやすい環境にあったと思うが、新しい基本ポートフォリオへの移行でウェイトが増えた分だけではなく、優秀なアクティブ運用マネジャーがいるのであれば、積極的に採用して、収益の糧としていくということを検討いただきたい。

以上